

# 大震災・復興ニュース(第41報)

平成24年1月27日  
仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

宮城県内で採取した水産物について、下記のとおり放射性物質の測定結果をお知らせします。

- 1 測定年月日 平成24年1月10～24日
- 2 測定分析機関 宮城県農林水産部,(独)水産総合研究センター中央水産研究所  
(財)日本分析センター,いであ(株)
- 3 測定結果 放射性ヨウ素はすべて不検出であり,放射性セシウムも国が定めた暫定規制値を下回り,安全性に問題がないことが確認された。

水産物(漁獲日 平成23年12月9日～平成24年1月17日) (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
マダコ	宮城県沖	不検出	スケトウダラ	宮城県沖	4.7
イシガレイ	宮城県沖	40	マダラ	宮城県沖	7.2
マアナゴ	宮城県沖	10.6	アカガレイ	宮城県沖	12.3
ウバガイ(ホッキガイ)	亶理荒浜地先	30	スルメイカ	宮城県沖	不検出
イカナゴ	仙台湾	19	カナガシラ	三陸北部沖	2.2
ナマコ	石巻湾	不検出	アブラツノザメ	宮城県沖	不検出
ワカメ(養殖)	石巻湾	不検出	ヤリイカ	三陸南部沖	不検出
ワカメ(養殖)	松島湾	不検出	マサバ	三陸南部沖	7.9
アカガイ	閑上沖	不検出	メカジキ	太平洋沖合	0.75
マダラ	宮城県沖	140	ピンナガ(ピンナガヨウダ)	太平洋沖合	2.3
マコガレイ	宮城県沖	不検出	ヨシキリザメ	太平洋沖合	不検出
ヒラメ	宮城県沖	3.2	メバチマグロ	太平洋沖合	3.4

放射性物質の値は漁獲日における値を示す。

食品衛生法の規定に基づく食品中の暫定規制値

放射性ヨウ素 2,000ベクレル/kg 放射性セシウム 500ベクレル/kg

水産業共同利用施設復旧整備事業(三次補正)説明会について

1月20日(金),県漁協塩釜総合支所会議室において,全県の市町村及び県漁協関係者を対象にした水産業共同利用施設復旧整備事業(三次補正)の説明会が開催された。

会議では,県より事業の事務手続きについて説明があり,参加者からは設計業者の選定方法や海苔乾燥施設の入札方法についての質問等があった。

## 復興交付金事業説明会について

1月26日(木), 仙台第三合同庁舎7階第二会議室において, 市町担当者を対象とした東日本大震災復興交付金事業説明会(水産庁所管事業)が開催された。

会議では水産庁の担当者より「漁業集落防災機能強化事業」「漁港施設機能強化事業」「水産業共同利用施設復旧整備事業」の説明, 今後の手続きスケジュールが示され, 参加者からは漁港施設機能強化事業での地盤改良の可否や効果促進事業の考え方の質問等があった。

## 2 管内の復興に向けた動き

### <トピックス>

#### (株) 高速が団地加工協に包装用機材を無償貸与

1月18日(水), 包装資材商社の(株) 高速が塩釜市団地水産加工業協同組合に対して包装用機材を無償貸与した。

貸与した機材は「シュリンク包装機」「上包機」「金属検出機」「カートンシーラー」「梱包機」「ラベル発行機」「サーマルプリンター」「真空包装機」等10台, 計2500万円相当であり, 貸与期間は当面1年としている。

機材は昨年末に完成した仮設で業務を再開している同組合の「開放実験室」(電話番号:022-365-7610, 住所:塩釜市新浜町3)に搬入され, 市内の加工業者による今後の活用が期待されている。



仮設の開放実験室外観



左・シュリンク包装機 右・上包機

#### 矢本のワカメ水揚げ始まる

1月27日より県漁協矢本支所のワカメの水揚げ作業が始まった。

東松島市大曲の岸壁では, 生産者13名が漁船3隻に分かれて刈り取ったワカメ約1tが集められ, メカブや元茎の切り取り及び計量作業が行われた。

出荷は生で行われ, 今後日曜を除く毎日水揚げが行われる予定である。

現在ワカメは1~1.2mに達し, 品質もよく高単価が期待されている。



ワカメ水揚げ作業